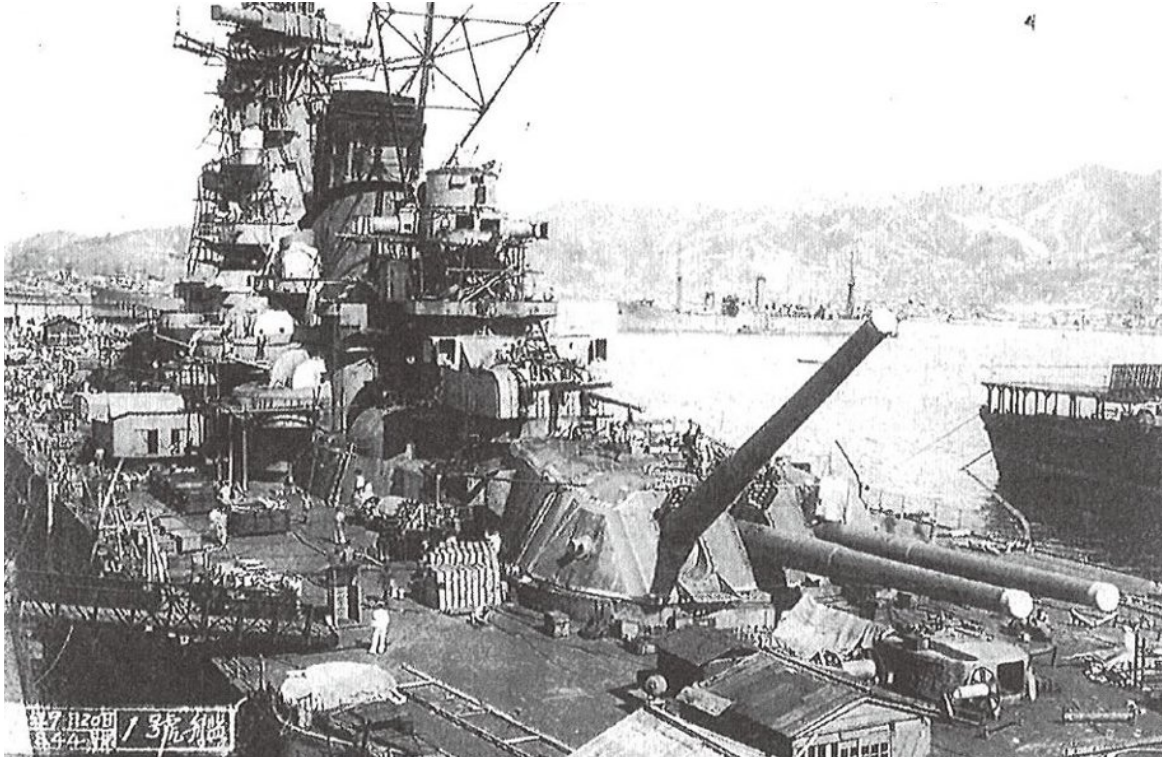


戦艦大和にも 採用された技術力



戦艦大和46cm砲塔

東洋精機

非鉄金属

株式会社

創

業時のヤスリ製造にはじまり、大正時代に入ってから
は型打鍛造品、旧日本海軍の艦艇用
バルブ他多様な機器類を製造、戦
後、海上自衛隊となつてからも各種
艦艇用機器を取り扱ってきました。

旧日本海軍も 信頼の技術

東洋精機の工場がまだ大阪に
あった頃(1939~1940年)、
ある日の夕方に突然、呉海軍工廠
(軍需工場)の海軍少将(部長)が図
面を持って注文の相談に来社され
ました。

この品物は戦艦大和、武蔵の砲塔
(砲塔内に砲弾を満載した状態重
量2,770トン)を自由自在に動
かす水圧ポンプであり、当時この一
件からも東洋精機の技術が海軍部

内で信用があつたことをうかがい
知ることができます。



生徒動員の女子挺身隊



大阪本社の旋盤工場

1937年の
会社慰安会

東洋精機(株)

〒660-0803
尼崎市長洲本通
1丁目14番37号
TEL:06-6481-5361
代表取締役社長 吉川 眞二
<http://www.toyoseiki-kk.co.jp/>